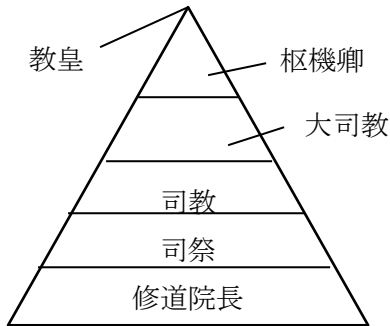


教会の権威

① ローマ・カトリック教会

・教会のヒエラルキー(階層制組織)



*特権

- ・農奴に()
- ・教会法による裁判権
- ・大司教などは王や貴族に荘園を寄進され大領主に

② 叙任権闘争

・皇帝などの世俗権力が領地内の教会の聖職者を任命、次第に聖職者でない俗人をその地位に任命もするようになり

↓

- ・聖職者の俗化(妻帯や聖職売買)

↓

- ・()修道院を中心に改革運動 (修道院運動)

*修道院運動

- ・910年 クリュニー修道院設立
 - ・1098年 シトー修道会設立…開墾運動
 - ・1209年 フランチェスコ修道会
 - ・1215年 ドミニコ修道会
- 托鉢修道会(修道院の富俗化批判、個人財産持たない、都市に設立される)

・教皇()は聖職売買、聖職者の妻帯を近似、聖職叙任権を世俗権力から取り戻そうと改革

↑↓

- ・神聖ローマ皇帝()は対立
- ・改革にそむく皇帝ハインリヒ 4世は教皇は破門

→1077年イタリア北部のカノッサ城で皇帝ハインリヒ 4世が教皇グレゴリウス 7世に対し謝罪
=()

- 1122年（ ）
 - 教皇カリクストゥス2世と皇帝ハインリヒ5世の間の協約
 - 叙任権は教皇に
 - 皇帝はドイツ領内での領地の承認権など俗権のみ
- 教皇権の高まり
- 教皇()の時教皇権絶頂
- 「教皇は太陽、皇帝は月」
 - イギリスのジョン王破門、フランス王フィリップ2世を屈服
 - 第4回十字軍提唱